

## 第2節 地域特性等の把握

### 1. 位置及び沿革

#### (1) 本市の位置

本市は、長崎県の南東部、島原半島の北西部に雲仙普賢岳を取り巻くように位置し、北に有明海、西に橘湾と2つの海に面しています。また、西に諫早市、東に島原市、南に南島原市と3市に隣接しています。本市の位置図を図 1-3 に示します。



出典：雲仙市環境基本計画（平成 27 年 3 月）

図 1-3 位置図

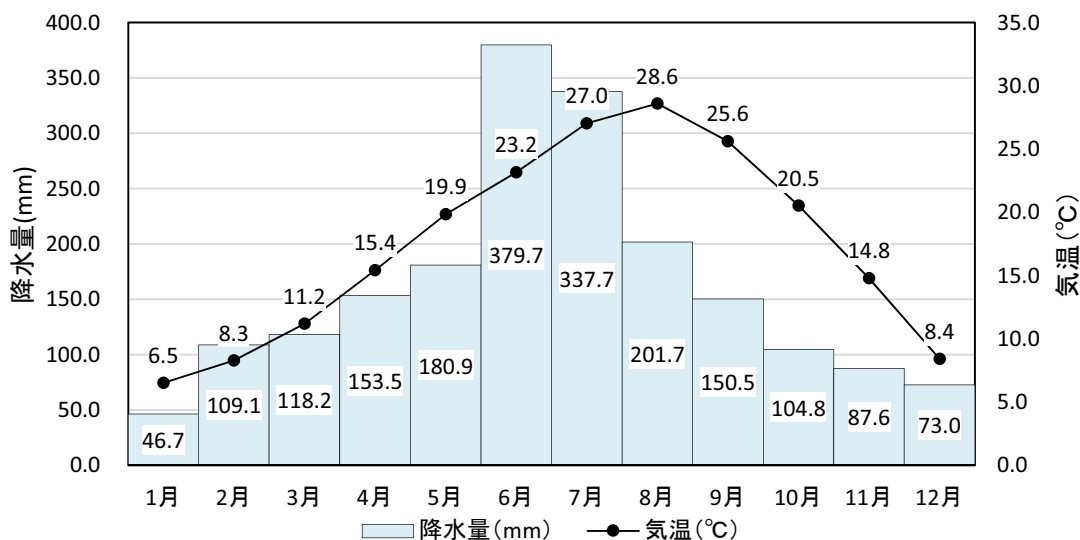
#### (2) 沿革

平成 17 年 10 月 11 日に国見町、瑞穂町、吾妻町、愛野町、千々石町、小浜町、南串山町の 7 町が合併して「雲仙市」が誕生しました。

### 2. 気候的特性

平成 17 年から平成 26 年平均値の降水量と気温を図 1-4 に示します。

本市は温暖多雨の恵まれた条件にあり、降水量は 1 月の 46.7mm から 6 月の 379.7mm まで推移し、気温は 1 月の 6.5℃から 8 月の 28.6℃まで推移しています。



※平成 17 年～平成 26 年の平均値。

※長崎県農林技術開発センター馬鈴薯研究室（雲仙市愛野町）のデータ。

出典：雲仙市 web ページ—気象概況を加工。

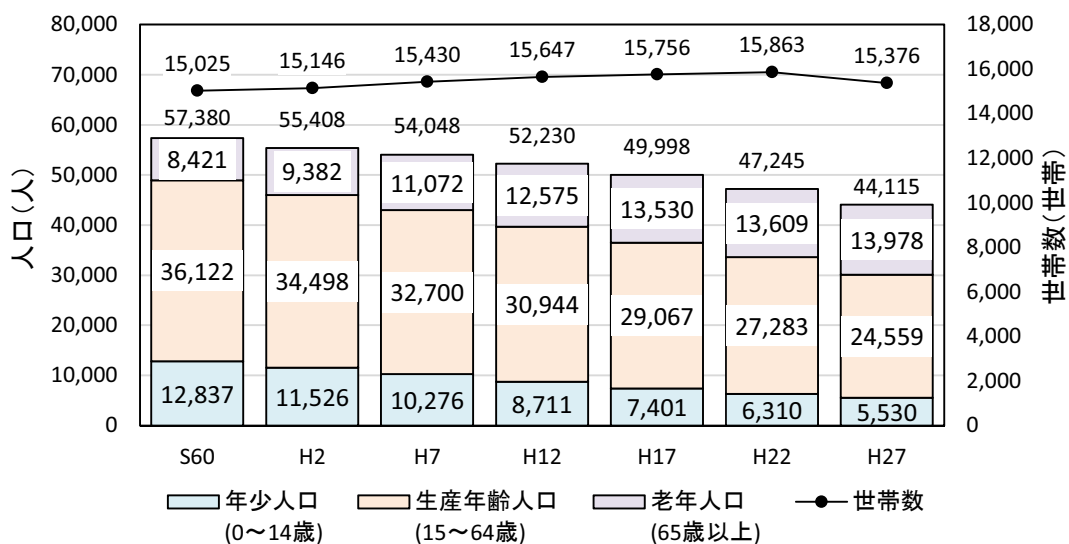
図 1-4 降水量と気温

### 3. 人口動態

#### (1) 人口及び世帯数の推移

本市の人口は減少傾向にあり、図 1-5 に示すとおり平成 27 年国勢調査で 44,115 人と、合併時（平成 17 年当時）に比べて 5,883 人減少しました。

世帯数は昭和 60 年から平成 22 年まで増加傾向にありましたが、平成 22 年から平成 27 年までに 487 世帯減少しました。

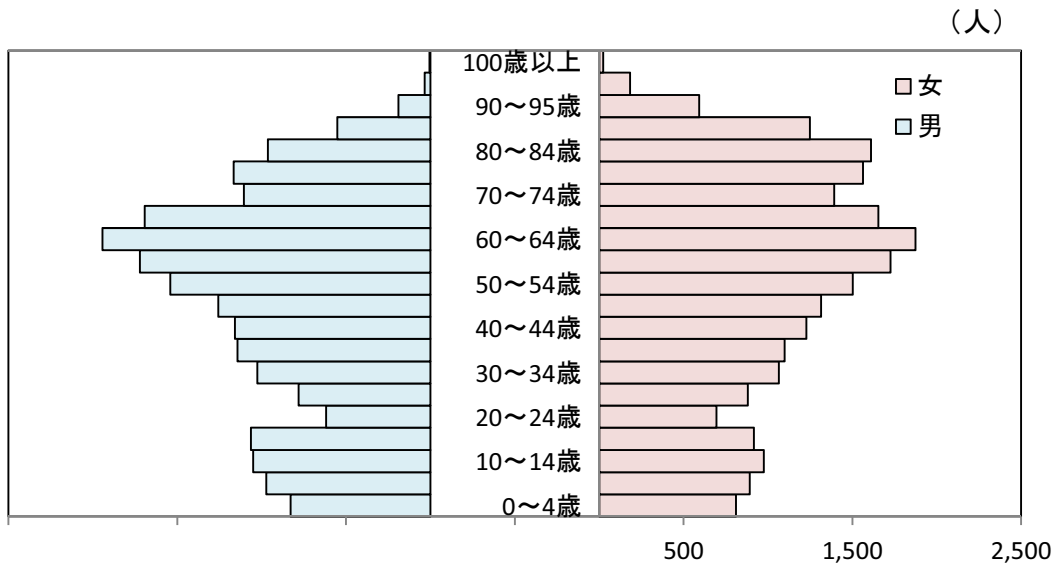


出典：国勢調査（各年度 10 月 1 日現在）

図 1-5 人口及び世帯数の推移

## (2) 人口ピラミッド

年齢別・性別の構造を表した本市の人口ピラミッドを図 1-6 に示します。本市は、男性及び女性ともに 20～24 歳が最も少なく、60～64 歳が最も多い傾向にあります。また、男性の老年人口（65 歳以上）は、年齢が増加するごとに人口が減少しますが、女性の老年人口は 89 歳まで緩やかに減少しています。

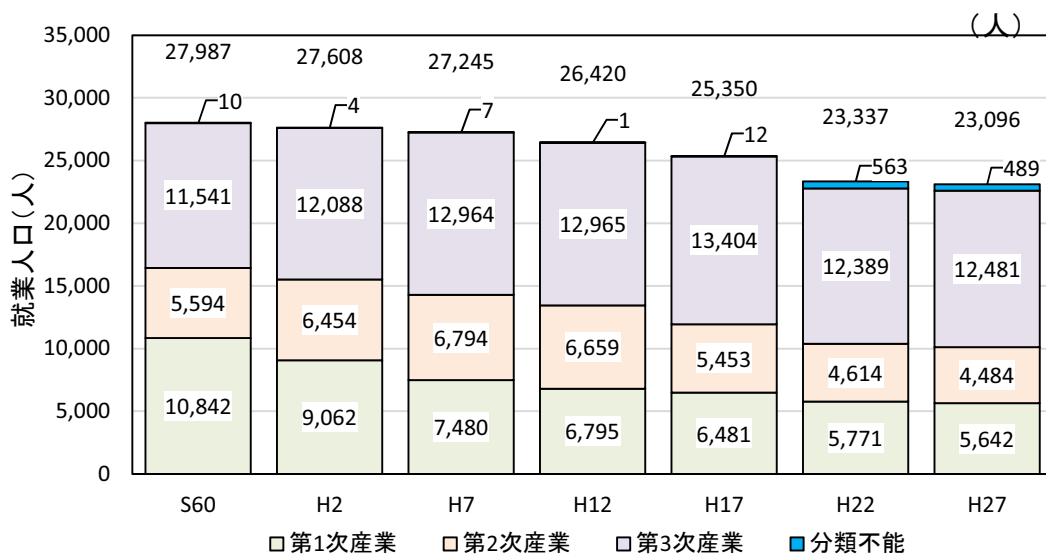


出典：国勢調査（平成 27 年 10 月 1 日現在）

図 1-6 人口ピラミッド

## 4. 産業の動向

就業者数の推移を図 1-7 に示します。本市の就業人口は減少傾向にあり、平成 27 年国勢調査で 23,096 人と、合併時（平成 17 年当時）に比べて 2,254 人減少しました。平成 27 年度の産業別就業者数の割合は、第 3 次産業が 54.0%、第 1 次産業が 24.5%、第 2 次産業が 19.4%となっています。



出典：国勢調査（各年度 10 月 1 日現在）

図 1-7 就業者数の推移

次に、産業（大分類）別の事業所数及び従業員数を表 1-5 に示します。本市の事業所数は、「卸売業、小売業」が最も多く 609 事業所、次いで「宿泊業、飲食サービス業」が 242 事業所、「医療、福祉」が 231 事業所となっています。従業員数は、「複合サービス業」が最も多く 3,506 人、次いで「宿泊業、飲食サービス業」が 3,175 人、「製造業」が 2,281 人と、事業所数とは異なる傾向を示していますが、事業所数と同様に第 3 次産業が多い傾向にあります。

表 1-5 産業（大分類）別の事業所数及び従業員数

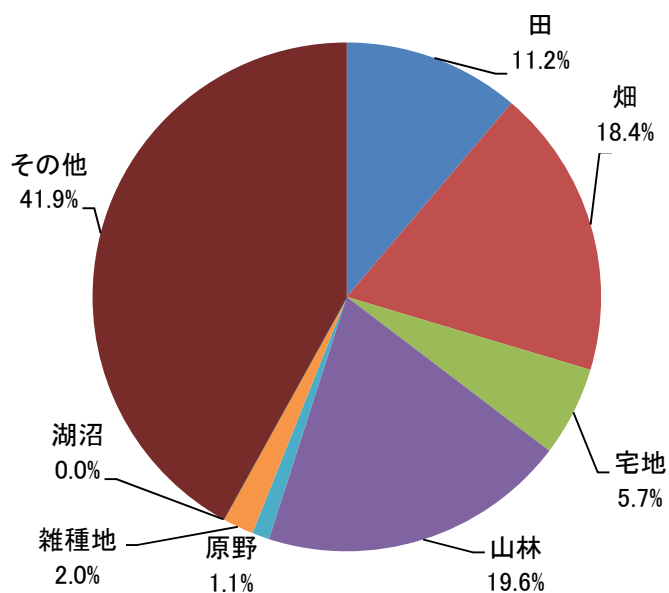
産業（大分類）	事業所数 （事業所）	従業員数 （人）
農林漁業	50	612
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
建設業	218	1,260
製造業	146	2,281
電気・ガス・熱供給・水道業	5	42
情報通信業	4	139
運輸業、郵便業	47	589
卸売業、小売業	609	3,175
金融業、保険業	20	178
不動産業、物品賃貸業	78	198
学術研究、専門・技術サービス業	54	121
宿泊業、飲食サービス業	242	2,025
生活関連サービス業、娯楽業	211	571
教育、学習支援業	95	730
医療、福祉	231	730
複合サービス事業	130	3,506
サービス業(他に分類されないもの)	120	1,966
全産業(公務を除く)	2,183	16,671

※産業（大分類）は複数回答のため、産業別の合算値と全産業（公務を除く）の値は一致しない。

出典：経済センサス 基礎調査（平成 26 年度 7 月 1 日）

## 5. 土地利用状況

土地の利用状況を図 1-8 に示します。本市の総面積は 214.31km<sup>2</sup>（平成 28 年 10 月 1 日現在）です。土地利用面積の割合は、「森林」が 80.9%と最も多くを占め、次いで「宅地」が 2.8%（「その他」を除く）となっています。



※平成 28 年 1 月 1 日現在。

※市民生活部税務課のデータ。

※表示単位以下を四捨五入しているため合計は 100%にならない。

出典：雲仙市 web ページ—土地利用の状況を加工

図 1-8 土地利用状況